

(2) 冷却水補充

基準 クーラント濃度は各地の最低気温に応じた濃度に調整する

濃度 30% (−12°C)

濃度 50% (−35°C)

1. ラジエータ ドレン プラグをプラス ドライバを使用して締め付け、冷却水をラジエータ注入口よりゆっくりと注入口一杯まで注入する。

[参考] ・ 冷却水注入の際は、やかんで水を注ぐ程度(1ℓ/分程度)でゆっくりと行う。

- ラジエータ インレット ホースおよびラジエータ アウトレット ホースを手で数回圧迫し、ラジエータ注入口の水位が下がるようであれば追加注入する。

2. ラジエータ キャップを締める。
3. ラジエータ リザーブ タンクに冷却水を上限(Full)まで注入する。
4. エンジンを始動し、水温が 100°Cになる、もしくはラジエータ ファンが作動してから後約 1 分後にエンジンを停止させる。
5. 冷却水が冷えるまで待ち、ラジエータ キャップを外して水位を確認する。
6. 水位が下がっている場合は、(3)の手順より繰り返す。
7. 水位が下がらなくなったら、冷却水をラジエータ リザーブ タンクの上限(Full)まで注入する。
8. 冷却水の漏れがないか点検を行う。

(B1.1-2-14 項 (B1-12 ページ) 参照)